

2018年

5月19日(土)

12:30開場 / 13:00開演

FFGホール

第36回

RKB女声合唱団演奏会

RKB FEMALE CHORUS The 36th CONCERT



ごあいさつ

青葉ひかる美しい季節、本日はお忙しいなかご来場いただきましてありがとうございました。

今回のメインプログラムとなる「スターバト・マーテル」は、十字架に架けられたイエスを仰ぐ聖母マリアの苦しみにすがって恵みを求める祈りが歌われた曲で、流麗な旋律の独唱、二重唱、女声合唱で構成されています。ソプラノ独唱に中俣明美さん、弦楽合奏に“Ensemble Giovanni”の皆さんをお迎えして演奏いたします。G・ペルゴレージの名作をじっくりと味わっていただければ幸せです。

後半はジュニアからシニア世代まで幅広く愛される合唱曲を数多く生み出されている日本を代表する作曲家の一人、木下牧子さんの「ファンタジア」、そして最後に昨夏、惜しくも他界された小林秀雄さんの不朽の名曲「落葉松」を中心に、身近に親しまれてきた歌を女声のハーモニーでお届けいたします。遠い昔の余談になりますが、昭和40年代、故石丸寛さんの提唱により開催されていた“九州サマーフェスティバル”の第4回で、小林秀雄さんの新曲「九州民謡によるコンポジション」どんたくばやし等をRKB女声合唱団が絆の着物姿で初演、小林先生がとても喜んで下さったことを昨日のことのように思い出しています。間もなく65年の歩みを数えるRKB女声合唱団、これからも福岡の音楽文化の発展を担う意欲を持って地道に精進してまいりたいと存じます。来たる7月27日には、九響第369回定期演奏会に於いて、ホルスト作曲「惑星」のフィナーレを飾る女声合唱を演奏いたします。

今後共、音楽ファンの皆さま方の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

RKB女声合唱団 顧問 香月ハルカ
福岡県合唱連盟

本日はお忙しい中、RKB女声合唱団第36回演奏会にご来場いただき有難うございます。

今回は第1ステージに「スターバト・マーテル」を、ソプラノに中俣明美さんと、アンサンブル・ジョバンニの皆様にご出演いただき演奏致します。第2ステージは木下牧子作曲「ファンタジア」、第3ステージは昨年7月25日に死去された小林秀雄先生を偲んで「落葉松」の中から2曲、東日本大震災復興ソング「夜明けから日暮れまで」と他2曲演奏致します。2年前には熊本地震がありました。私たちは歌うことでも少しでも被災された皆様に貢献出来ればと思います。

前回の演奏会入場料より、東日本大震災へ寄付をさせて頂きました。今回は熊本地震へ寄付をさせて頂きたいと思います。

今後とも、皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

RKB女声合唱団 団員一同

プログラム

I STABAT MATER

作曲 Giovanni Battista Pergolesi

- | | |
|---|---|
| 1. <i>Stabat Mater dolorosa</i> | 2. <i>Cujus animam gementem</i> |
| 3. <i>O quam tristis et afflictta</i> | 4. <i>Quae moerebat et dolebat</i> |
| 5. <i>Quis est homo, qui non fleret</i> | 6. <i>Vidit suum dulcem natum</i> |
| 7. <i>Eja Mater, fons amoris</i> | 8. <i>Fac ut ardeat cor meum</i> |
| 9. <i>Sancta Mater, istud agas</i> | 10. <i>Fac ut portem Christi mortem</i> |
| 11. <i>Inflammatus et accensus</i> | 12. <i>Quando corpus morietur</i> |

ソプラノ 中俣 明美
アルト 和田 啓子 (団員)

休憩 (15分)

II 女声合唱とピアノのためのファンタジア

作曲 木下牧子 訳詩 木島 始

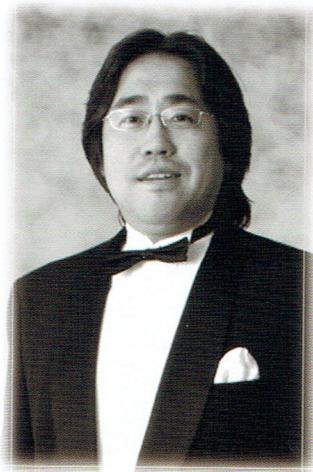
雪ひらひら
窓
風をみたひと
ジプシー
重いのはなあに?
夜は決してじつとは

III 日本の名曲

あなたと わたしと 花たちと
落葉松
砂山
木曽節
夜明けから日暮れまで

作曲 小林 秀雄	作詩 峯 陽
作曲 小林 秀雄	作詩 野上 彰
作曲 中山 晋平	作詩 北原 白秋
長野県民謡	編曲 三枝 成章
作曲 信長 貴富	作詩 和合 亮一

指揮 久世 安俊



福岡教育大学音楽科(声楽)卒業。同大学院修了。

北里由布子、三浦國彦、平和孝嗣、柴山昌宣の各氏に師事。

これまでに、西日本オペラ協会公演のオペラ「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」、「秘密の結婚」、「カプレーティとモンテッキ」等に出演。アクロス福岡主催による、こどものためのオペラにも出演。またバッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ曲」「クリスマスオラトリオ」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツアルト「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」など教会音楽のソリストも務める。合唱指揮者として他団体での客演指揮、地域の合唱発表会講師などでも活躍。現在、近畿大学九州短期大学教授。西日本オペラ協会理事長。

RKB 女声合唱団指揮者。NCB コールアカデミア指揮者。福岡ゾリスト会員。

ピアノ 大城 綾子



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。福岡教育大学大学院修了。第6回日本クラシック音楽コンクール 全国大会大学の部 審査員特別賞受賞。オランダ・ミュージックセッション修了。クールシュヴェル国際音楽夏期アカデミーにて教授推薦によりコンサート出演。ミラノにてイタリアオペラ伴奏をダンテ・マツオーラ氏に師事。ドイツ歌曲伴奏法をフォルカー・レニッケ氏、西内玲氏に師事。2011年アクロス福岡シンフォニーホールでハンガリーのコダーリ弦楽四重奏団とシューマンのピアノ五重奏を共演し好評を博した。2016年第347回九響定期演奏会プログラム・イタリアオペラ「道化師」全幕の指揮者アンドレア・バッティストーニによるソリストと合唱団の稽古伴奏を務める。現在、独奏、室内楽、オペラ、歌曲、合唱のピアニストとして活躍の場を広げている。

中俣 明美 (Sop)



国立音楽大学声楽科卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第15期修了。呼吸法を藤代顕子氏、声楽を竹内肇、菅家美保子、小濱妙美、松本進、カルメン・スター、西内玲の各氏に師事。これまで「イル・カンピエッロ」「フィガロの結婚」「魔笛」「愛の妙薬」「コシ・ファン・トゥッテ」「カルメン」「泥棒とオールドミス」「秘密の結婚」「ヘンゼルとグレーテル」等のオペラや、東京・神奈川・福岡においてのジョイントコンサート・サロンコンサート等に出演。また、モーツアルト「レクイエム」、フォーレ「小ミサ曲」など宗教曲のソリストも務める。第44回西日本新人紹介演奏会出演。第37回・第41回九州サマー・フェスティバルにて九響と共に演。第20回飯塚新人音楽コンクール本選入賞。現在、西南女学院大学短期大学部非常勤助手、福岡女子短期大学非常勤講師。福岡ゾリスト会員。

Ensemble Giovanni

重松 朋子 (Vn)

広島大学教育学部音楽科卒業。バイオリンを岩下ゆり子、木村二郎、市原利彦、太期晴子の各氏に師事。第42・43回大分県高等学校音楽コンクール優秀賞受賞。2009年から2015年にかけて室内楽のメンバーとしてイギリスとイタリアで演奏。現在、音楽教室講師を務めると共に室内楽やオーケストラ等で演奏。

永田 望 (Vn)

福岡出身。2002・2003年全国高校生ソロ音楽コンクール銀賞受賞。洗足学園音楽大学入学後、特別演奏選抜生に認定される。後に奨学生として、英國国立カンタベリークラリストチャーチ大学に編入し卒業。ウィーン国立音楽大学デュプロマ取得。現在、福岡を中心に演奏活動を行う。また、後進の指導にも力を入れ、ヴェルデ音楽コンクール、ジュニアクラシックコンクール、クラシックコンクール等で多数の受賞者を輩出する。ブラボー音楽教室代表。

中村はるみ (Vla)

福岡女学院高校音楽科を経て、国立音楽大学器楽科卒業。ハンブルグ音楽祭マスタークラス終了後優秀演奏賞授賞。天野晴司、石橋洋子、鷺見三郎、鷺見四郎、各氏に師事。現在、はーとけあカルテット、福岡バッハコレギウム、九州室内管弦楽団、福岡サロンオーケストラ等多数の室内楽を中心に活躍している。

石橋直 (Vc)

福岡市出身。福岡教育大学卒業。在学中に同大学の管弦楽団でチェロを始め、卒業後は教職の傍ら福岡を中心にソロ、室内楽、オーケストラ等での演奏活動を展開している。管弦楽や吹奏楽の指揮も行っており、高校生を中心に後進の指導にもあたっている。

杉上あつこ (Cb)

京都市立芸術大学音楽学部卒業。西出昌弘氏に師事。同大学卒業演奏会の出演者に抜擢される。滋賀県新人演奏会出演。九州交響楽団を経て、現在各地のオーケストラ、室内楽、ソロ等多方面で活躍中。2014年現在ヴェネチア、ベローナ、ナポリ等イタリア各地及び福岡を中心にオーケストラ、室内楽を公演し好評を得ている。シンフォニエッタ福岡メンバー、精華女子短期大学弦楽講座講師。北九州市ジュニアオーケストラ講師。

大森美樹 (Bc)

福岡教育大学卒業。同大学院修了。故・安永武一郎、福田伸光、吉田眞理、古田喜良子の各氏に師事。

西日本オペラ協会、NCB コールアカデミア、ももちパレスカルチャーセンター「素敵にうたう」、ヴォーチェアンダンテ ピアニスト。糸島市日本唱歌保存愛唱会、さわやか合唱団 指導者。NPO 法人「善の快」Love&Peace 会員。女声合唱団クールクール団員兼トレーナー。ピアノと歌の音楽教室「クール・ド・ミュージック」主宰。



プログラム・ノート

「スタバト・マーテル」

ペルゴレージといえば、私はオペラ・ブッファ(喜歌劇)の最初の作品とされる《奥様女中》の印象が強いのですが、今日のお客様はこの《スタバト・マーテル》がすぐに想い浮かぶという方が多くいらっしゃるかもしれません。26歳で亡くなるペルゴレージの遺作であり、彼の最高傑作のひとつだといえます。この詩はイタリア中部の街ドーディの修道士ヤコポーネが作ったもので、磔になったイエスの足元で、息子の死を嘆く聖母マリアを思う内容となっています。3行を1節として全20節から構成されていますが、ペルゴレージはそれを12曲に分け作曲しています。

悲痛な内容ですが単調さを避けるためかうち3曲は長調で書かれており、全体にオペラアリアのような美しい旋律が支配しています。

「女声合唱とピアノのための ファンタジア」

木下牧子氏は私が好きな作曲家のおひとりです。木下氏はじめての女声合唱作品であるこの《ファンタジア》は6つの幻想的な世界に“動き”と“奥行き”と“色彩”をみごとに「かたち」付けた傑作だと思います。作曲のコンセプトとして「女声の特質を曲想に充分生かすこと。音楽の質を保ちながら、大人が歌って楽しめる洒落た作品にすることであった。」と楽譜の序文に書かれています。かなりのテクニックを要する作品ではありますが、オープニングの幻想的な空気感に始まり、透明感を感じるエンディングまで、どのような風景をお伝え出来ますでしょうか…。お楽しみください。

「日本の名曲」

今昔数ある名曲の中から“歌いたい”名曲を集めました。RKB女声合唱団が歌いたい曲であり、皆さんにも歌っていただきたい曲でもあります。特記しますれば、昨年7月に小林秀雄氏が86歳の人生に幕を下ろされました。合唱ではバイブルといえる《落葉松》は是非に歌いたいというところからスタートした企画です。

《あなたとわたしと 花たちと》《落葉松》

小林氏は演奏してくださる方々にと言葉を残されています。「人と音楽を愛する熱い心があるならば、明るい、わかりやすい音楽を、正確にして正格な技術で演奏する。内容や心はそれに乗って滲み出てくる。これが音楽です。ここに、明るく、わかりやすい音楽をお届け致します。」情景が浮かぶ名曲です。

《砂山》

童謡《砂山》は中山晋平氏が小学校教諭を退職する折に作られたもので、子どもたちが踊りだすような軽快さと、別れの淋しさもうかがえる作品です。

《木曽節》

長野県木曽地方の民謡で大正年間に盆踊り歌として全国に広まりました。1963年にNHK『みんなのうた』で紹介され、ザ・ピーナッツが歌っていたそうです。

《夜明けから日暮れまで》

東日本大震災から約1年後に開催された第5回声楽アンサンブルコンテスト全国大会で誕生した作品で、それ以降、テーマ曲として歌い継がれています。“合唱”的持つ底知れぬパワーを実感できるはずです。

(文責・久世安俊)

合唱団のあゆみ (2015年～2017年)

- '15 2月1日 福岡永楽会箏曲演奏会ゲスト出演
6月14日 第70回合唱祭参加
11月1日 福岡マンドリンオーケストラ第50回記念定期演奏会に出演
1月3日 音団連ミニこん！ききにこん！あ・ら・かるとコンサートに出演
- '16 3月6日 FUKUOKA オーケストラ フェスティバルに出演
6月12日 福岡県合唱連盟福岡支部創立70周年記念合唱祭参加
11月6日 音団連ミニこん！ききにこん！あ・ら・かるとコンサートに出演
11月13日 合唱とオーケストラのための組曲「筑紫讃歌」公演に出演
11月29日 第35回演奏会
12月17日 男女新池パーティ(西高宮校区)のクリスマスミニコンサートに出演
- '17 6月11日 第72回合唱祭参加
11月3日 音団連ミニこん！ききにこん！あ・ら・かるとコンサートに出演
12月17日 藤本流秀益枝会40周年記念公演に合同出演

団員募集中！

- ♪練習日：毎週火曜日
(18:45～20:45)
♪練習会場：RKB
T1スタジオ
♪入会金：無料
♪会費：月額4,000円
(学生無料)

Email/rkb.female.chorus@gmail.com

お問合せ…

092・522・1038 (和田)

RKB 女声合唱団メンバー

ソプラノ (Sop)

- ※ 和田 啓子
● 立石 智子
久原 幸枝
● 佐藤 真理子
津山 初美
安増 直美
藤崎 孝子

※はソロ

●はアンサンブル・メンバー

メゾソプラノ (Mez)

- 内野 美保子
一柳 由美子
● 河野 泰子
松雪 真弓
甲斐 真知子
川野 公江
● 大浦 洋子
犬童 のり子
山坂 明美
中山 洋子
菊池 多美子 (休団)

アルト (Alt)

- 小田 智子
● 秋枝 寿栄
武内 昌子
中村 美和子
佐山 嘉子
山本 美知子
北島 まり
熊野 富美代
今泉 直子
東 美幸 (休団)

代表・総務

副総務

Sパートリーダー

Mパートリーダー

Aパートリーダー

S庶務

M庶務

A庶務

会計

内野美保子

和田 啓子

佐藤真理子

大浦 洋子

秋枝 寿栄

久原 幸枝

中山 洋子

小田 智子

北島 まり

演奏会委員

総括 内野美保子

涉外 和田 啓子

会計 川野 公江

衣装 大浦 洋子

パンフ 一柳 由美子

ステージマネージメント 西村嘉利士

演奏会協力 NPO 法人文化ボランティア

とびうめの会

他、多くの皆様、ご助力ありがとうございました

スター・バト・マーテル

I. 二重唱

悲しみの聖母は立っていた
十字架のもとに、涙にむせびつつ
御子が架けられている間。

その人々の罪のために
イエスが責められ
鞭打たれるのを聖母は見た。

II. アリア

嘆き、憂い、
悲しめるその魂を
剣が貫いた。

VI. アリア

聖母は愛おしい御子が
苦悶のなか
息絶えるのを見た。

III. 二重唱

おお、どれほどの悲しみと傷つき
神のひとり子の
祝福された御母は。

VII. アリア

さあ聖母よ、愛の泉よ
私にもあなたの悲しみを感じさせ
共に嘆かさせてください。

IV. アリア

慈愛深い御母は
御子が罰を受けるのを見て
どれほど悲しみ、苦しまれたことか。

VIII. 二重唱

私の心を
神なるキリストの愛に燃えさせ
その御心にかなうようにしてください。

V. 二重唱

涙しないものがあるだろうか
キリストの御母が
これほどの苦悶するのを見て。

IX. 二重唱

聖なる母よ
十字架に架けられたときの御子の傷を
私の心に刻み込んでください。

悲しまずにいれるものがあろうか
キリストの御母が御子とともに
苦しむのを見て。

あなたの御子が傷つけられ
私のために受けた苦しみを
私にも分けてください。

XII. 二重唱

あなたとともに真の涙を流し
磔の苦しみをともに味わわせてください。
私が生きているかぎり。

肉体は死んでも
どうぞ魂には楽園の栄光を
与えてください。
アーメン

あなたとともに十字架のもとに立ち
あなたの嘆き悲しみを
喜んで共有します。

乙女の中の乙女よ
私を退けずに

あなたとともに嘆かせてください。

X. アリア
どうか私にキリストの死と
苦難をともに負わせ その傷に
思いを馳せさせてください。

私に傷を負わせ
十字架と御子の愛に
私を酔わせてください。

XI. 二重唱
地獄の炎に焼かれることの無いよう
聖なる乙女よ、お守りください。
審判の日には。

どうかわたしを十字架でかくまい
キリストの死によって守り
恩寵により慈しみください。

〈参考文献〉

三ヶ尻正 (2001)『ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブック』ショパン